

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

愛媛県内の新型コロナウイルス検査の陽性者数は、第 10 週 1,959 人、第 11 週 1,683 人と依然として多い状況が続いています。年度替わりの時節を迎え、進学や就職、転勤等で県外との往来や歓送迎会など会食の機会が増え、感染リスクの高まりが懸念されますので、より一層感染予防対策を徹底しましょう。発熱や咳に限らず鼻水や喉の痛み、倦怠感など、軽い風邪のような症状であっても症状のある方は必ず人との接触を避け、あらかじめかかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター (089-909-3483)」に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ⇨



発生動向の概況

RS ウイルス感染症の定点当たり報告数は、第 10 週 1.4 人から第 11 週 0.9 人と減少しましたが、今治保健所では多い状況が続いています。今治保健所の定点当たり報告数は、第 10 週 9.8 人、第 11 週 6.4 人と過去 10 年の同時期と比較して最も多くなっています。この疾患は、2 歳以下の乳幼児を中心に流行し、主な症状は発熱や鼻汁、咳などですが、特に 6 ヶ月未満の乳児では重症化することがあります。感染予防のため、液体せっけんと流水での手洗いを励行しましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第 10 週 10.1 人から第 11 週 7.5 人と減少しました。冬から春にかけてウイルス性の感染性胃腸炎が増加する傾向がありますので、引き続き、調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン (エプロン)、手袋、マスクを着用し、次亜塩素酸ナトリウム (塩素系の漂白剤) で消毒しましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

二類感染症：結核 8 例

四類感染症：レジオネラ症 2 例 (60 歳代男性、70 歳代男性)

五類感染症：後天性免疫不全症候群 1 例 (患者 (AIDS)、60 歳代男性、推定感染経路：異性間性的接触、推定感染地域：国内)

梅毒 3 例 (30 歳代男性、40 歳代男性、60 歳代男性 2022 年県内累計 25 例)

百日咳 1 例 (10 歳未満男性)

新型コロナウイルス等感染症：新型コロナウイルス感染症 3,397 例

*その他、新型コロナウイルス感染症の届出が第 1 週に 1 例、第 3 週に 7 例、第 4 週に 8 例、第 5 週に 7 例、第 6 週に 18 例、第 7 週に 42 例、第 8 週に 29 例、第 9 週に 28 例ありました。

定点把握感染症 (数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RS ウイルス感染症	0.9	減少。今治保健所で多い。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.6	増加。西条保健所で急増。
感染性胃腸炎	7.5	減少。

解析評価委員のコメントから

RS ウイルス感染症： [東予] 今治市で多いようです。西条市はあまりいません。 [中予] 少数報告されました。

[南予] 報告はありません。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎： [東予] たまにみられます。 [中予] あまり流行っていません。

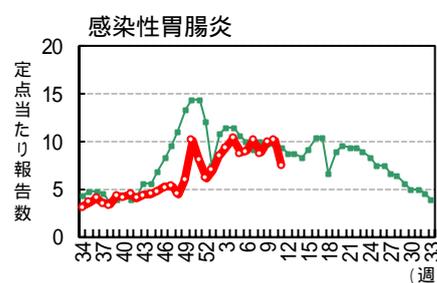
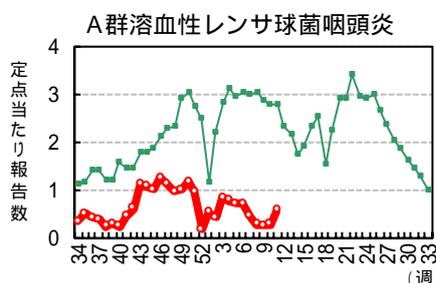
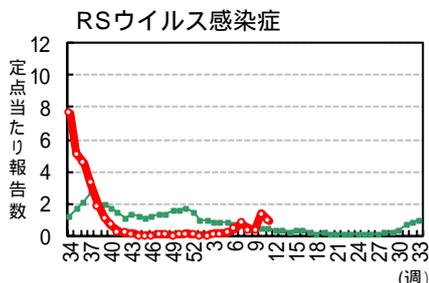
[南予] 少数発生していましたが第 11 週は発生ありません。

感染性胃腸炎： [東予] 流行っています。 [中予] やや減少しています。

[南予] 相変わらず多数発生していますが前週に比べてやや減少しています。

過去 30 週の動向

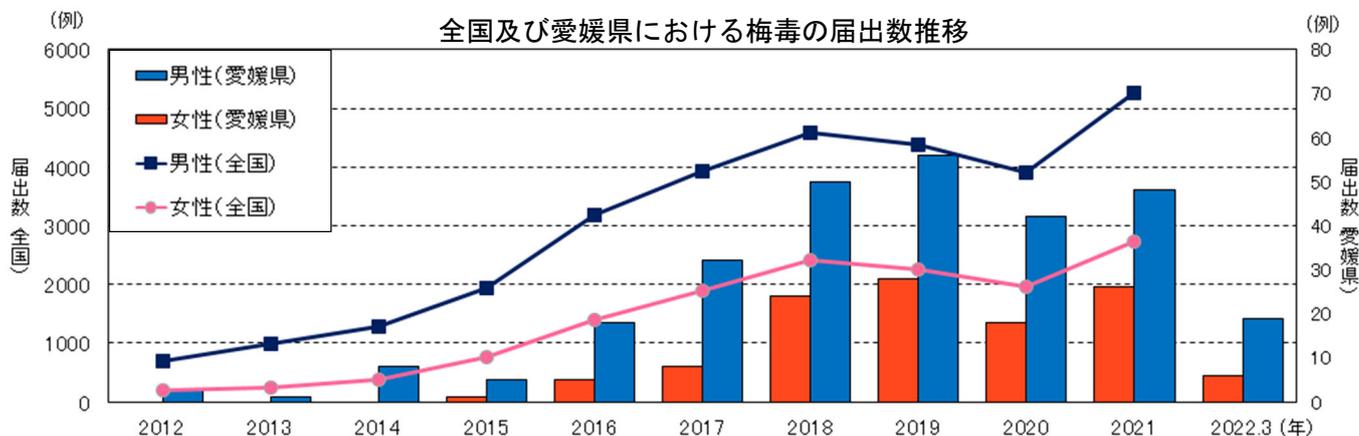
(: 過去 30 週の動向、 : 過去 10 年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

2022年第1～10週における全国の梅毒の届出数は1,801例で、感染症法が施行された1999年以降最多となった2021年同時期と比較して1.5倍に増加しています。県内の2022年累計届出数は25例で、過去5年の同時期に比べ最も多い状況です。性別内訳は男性19例、女性6例で、県内の届出数が最多となった2019年同時期（男性11例、女性6例）と比較して男性が1.7倍増加しています。年齢別にみると、男性は30歳代が8例（42.1%）と最も多く、次いで40歳代が5例（26.3%）、20歳代が3例（15.8%）となっています。女性は20歳代が3例（50.0%）、10歳代、30歳代及び70歳代が各1例（16.7%）でした。感染経路は、男性が性的接触18例（異性間：16例、不明：2例）、不明1例、女性が性的接触5例（異性間：4例、不明：1例）、不明1例と、男女共に性的接触による感染が多くを占めています。また、性的接触のうち、経口による感染が3例ありました。

この疾患の原因菌は梅毒トレポネーマで、感染早期には感染部位のしこりやリンパ節の腫れなどの症状がみられることがあります。その後一時的に軽快するため発見が遅れる場合があります。治療が遅れると脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。感染予防に対する正しい知識を持つとともに、早期発見のため、不安のある方は県内各保健所で実施している電話相談や無料匿名検査をご利用ください。梅毒に感染したと分かった場合は、周囲で感染の可能性のある方（パートナー等）にも検査を勧め、必要に応じて一緒に治療を行うことも重要です。



病原体検出情報

令和4年3月22日現在

■ 過去5週 検出病原体

(2022年2月14日以降採取検体)

○ 過去5週で新たに検出された定点把握疾患に係る病原体はありません。

■ 月別病原体検出結果

■ 臨床診断別検出結果 (2022年1月以降採取検体)

検体採取月		2021			2022			合計
検出病原体		10	11	12	1	2	3	
ウイルス	コクサッキーA6	3	8	2				13
	ライノ		1					1
	ノロ			2				2
	アデノ37				1			1
ウイルス計		3	9	4	1			17
細菌	A群溶レン菌			1				1
細菌計				1				1

検出病原体	流行性角結膜炎	合計
アデノ37	1	1
ウイルス計	1	1

注) 表中の検出数は3月22日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

全国 定点把握感染症 2022年 第9、10週 (2022.2.28 ~ 3.13)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
9週	愛媛県	.4	.1	.2	9.9	.1		.1	.4				.6					
	近畿 香川県		.2	.2	7.5	.0	.0	.0	.2		.0							
	徳島県		.1	.0	3.4	.1	.0	.0	.2		.0							
	高知県		.3	.1	2.8	.2	.0		.5		.0		.1					
	全 国	.0	.2	.1	3.8	.1	.1	.0	.2	.0	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0	.0
	北海道		.3	.1	4	.8	.1	.0	.2		.0		.1					
	東北		.2	.1	3.1	.2	.0	.0	.3	.0	.0	.0	.1			.0		
	関東	.0	.0	.0	4.0	.1	.0	.0	.2	.0	.0	.2	.0		.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸	.0	.5	.2	5	3.5	.1	.2	.3	.2	.0	.1						
	東海	.0	.2	.1	2	3.5	.0	.0	.2	.0	.0	.1		.0				
	近畿	.0	.1	.1	2	2.9	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.1		.0	.0		
	中国四国	.0	.2	.1	3	4.8	.1	.1	.3	.0	.0	.2	.0	.0				
	九州沖縄	.0	.6	.2	5	5.6	.1	.1	.3	.0	.0	.3	.0	.0				

(3.9集計)

10週	愛媛県	.0	1.4	.1	.3	10.1		.0	.3		.0		.6					
	近畿 香川県			.1	.1	5.3		.0	.4	.0								
	徳島県			.1	.0	2.7	.0		.3									
	高知県		.0	.1	.1	4.0	.0		.1		.0		.1					
	全 国	.0	.2	.1	.3	3.8	.1	.1	.0	.2	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.0	.0
	北海道		.3	.1	.5	1.0	.1	.0	.2		.0		.1		.0			
	東北		.2	.1	.3	2.9	.1	.0	.3	.0	.0		.0		.0	.0	.0	.0
	関東	.0	.0	.0	.1	3.9	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0	.0
	甲信越北陸		.3	.2	.4	3.5	.1	.2	.2	.1	.0	.0	.1	.0		.0		
	東海	.0	.2	.1	.2	3.5	.0	.0	.2	.0	.0	.0	.0	.0	.1		.0	
	近畿		.1	.1	.2	2.7	.1	.0	.2	.0	.0	.1			.0			
	中国四国	.0	.3	.1	.3	4.9	.0	.1	.2	.0	.0	.2		.0				
	九州沖縄	.0	.5	.2	.6	5.6	.1	.2	.4	.0	.0	.2		.0	.0	.0	.0	.0

(3.16集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

